

# 当科において鼻副鼻腔の治療を受けられた方及びそのご家族の方へ

## —「鼻・副鼻腔疾患における患者因子と予後、診断、治療の効果・安全性、 臨床病理学的な特性等に関する研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 耳鼻咽喉科 助教 檜垣 貴哉

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

岡山大学病耳鼻咽喉科では、おおくの鼻や副鼻腔の疾患に悩む患者さんの治療を行っています。鼻や副鼻腔は気道の入り口にあり、ほかの病気の症状が早くからでてくる場所です。そのため、日々新しい手術法や新しいお薬の開発が進んでいますが、効果が不十分な場合もあります。この研究の目的はこれまでの治療やその効果について検証することで、鼻や副鼻腔の疾患に悩む患者さんの予後を改善させることです。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究を行うことにより、手術を含めた鼻副鼻腔疾患に対する治療を受ける患者さんにおいて、どんな治療が良いか、などを、手術前に判定することができるようになるかもしれません。合併症を予防したり、患者さんに分かりやすい説明をすることが出来たり、実際の手術を受けられる患者さんにとって有益な情報を示すことができる可能性があります。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2000年4月1日～2030年3月31日の間に岡山大学病院耳鼻咽喉科において鼻副鼻腔疾患に対する治療を受けた患者さんを対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2030年12月31日

#### 3) 研究方法

2000年4月1日～2030年3月31日の間に岡山大学病院耳鼻咽喉科において鼻副鼻腔疾患に対する治療を受けた患者さんを対象とします。カルテ上の基本情報、現病歴、治療経過、検査記録などを参照します。

#### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、全身合併症、罹病期間）、放射線画像（単純X線写真、CTおよびMRI）、採血データ（血算、生化学、アレルギー検査）、術前症状（疼痛、運動症状、脳神経症状、

重症度など)、保存的治療の種類・内容、外科的治療の種類・内容、術後経過、合併症、予後の情報などの検査データ

## 7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院耳鼻咽喉科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

## 8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方(ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記、問い合わせ先にご連絡ください。)にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合があります。ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 耳鼻咽喉科

氏名：村井 綾

電話：086-235-7307 (平日：8時30分～17時00分)

ファックス：086-235-7308